

『当院ICUにおける排便プロトコール運用の有用性の検討』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	集中治療室で治療をされる患者様の中には、排便コントロールに難渋される方がいます。排便コントロールに難渋すると適切な栄養管理が困難になったり、下剤の使用により下痢になったりする可能性があります。そこで当院では排便コントロール改善のために排便プロトコールを作成します。
研究の方法	排便プロトコールの有用性を評価するために、プロトコール運用前後の排便状況並びに薬剤の使用状況などを調査します。
対象者	以下の対象期間に当院ICUに3日以上在室された20歳以上の方 プロトコール開始前群：2020年12月から2021年11月までの1年間 プロトコール開始後群：2022年3月から2023年2月までの1年間 以下に該当する方は研究に含みません ICU在室期間中にCD抗原、CDトキシンのいずれかが陽性となった方 ICU入室翌日に経口摂取可能な方 人工肛門増設された方 消化管を使用できない方
利用する試料/情報	排便プロトコール適用の有無、年齢、ICU入室日、ICU退室日、ICU在室日数、腸管蠕動薬・下剤開始日及び開始までの日数、初回排便日、初日排便時及び排便日のKSCスコア、初回排便までの日数、使用した腸管蠕動薬・下剤薬剤数及び薬価、使用した腸管蠕動薬・下剤、腸管蠕動薬及び整腸剤使用開始日までの日数に関する変動係数（CV値）
利用する試料/情報の取得方法	通常の診療で得られた診療録から取得。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	研究結果は日本医療薬学会年会で発表予定。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2024年11月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部 畠山 英司
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 薬剤部 畠山 英司